

平成29年度取組状況

ものづくり工学科 一般教養科 助教 福永 堅 吾

取組状況	
教育	<p>1. 新2年生 英語学習到達度試験を作成・実施 第1学年における学習定着度をはかるべく、基礎問題から初見長文問題まで出題した試験を年度当初に実施し、当該年度の英語教育の指針を立てる上での参考とした。</p> <p>2. 英語Ⅱ 書き込み式の文法教材と演習プリントを作成 新出の文法を学習する際に、ポイントを穴埋めにして例文を多く掲載したプリントを作成し、理解の助けとなるよう工夫を施した。また、毎時間の学習内容に関連する演習プリントを作成し、定着をはかった。</p> <p>3. 基礎英語演習Ⅱ グループ・ワークを導入 通常の必修の英語クラスとの差別化を図る目的で、講義・演習ではなく、グループ・ワーク形式を導入することで、学生同士の学び合いを通して学習効果を高める工夫をした。</p> <p>4. 英語表現(専攻科) ライティング教材を作成 ライティング力の養成を目標に、意見文、趣意書、企画書などさまざまなジャンルのライティングができる教材を作成した。</p>
研究	<p>1. 福永堅吾、北出義伸「文と文のつながりを意識した「英語表現」でのライティング指導」 語学教育研究所、2017年度研究大会、東京家政大学、2017年11月19日</p> <p>2. 福永堅吾「ヴァルター・グロピウスの「インターナショナル・スタイル」的側面についての考察ーグロピウスとアメリカのかかわりについて」日英言語文化学会、第63回定例研究会、明治大学、2017年12月9日</p>
社会貢献	<p>1. 日英言語文化学会 運営委員・紀要委員会</p> <p>2. 語学教育研究所 研究員・事業部支援員</p> <p>3. OPC講座「ドイツ語講座ー初級から中級へ」高専品川キャンパス、2017年11月-2018年1月、計10回</p>